

セラミド合成酵素遺伝子の 発現量評価

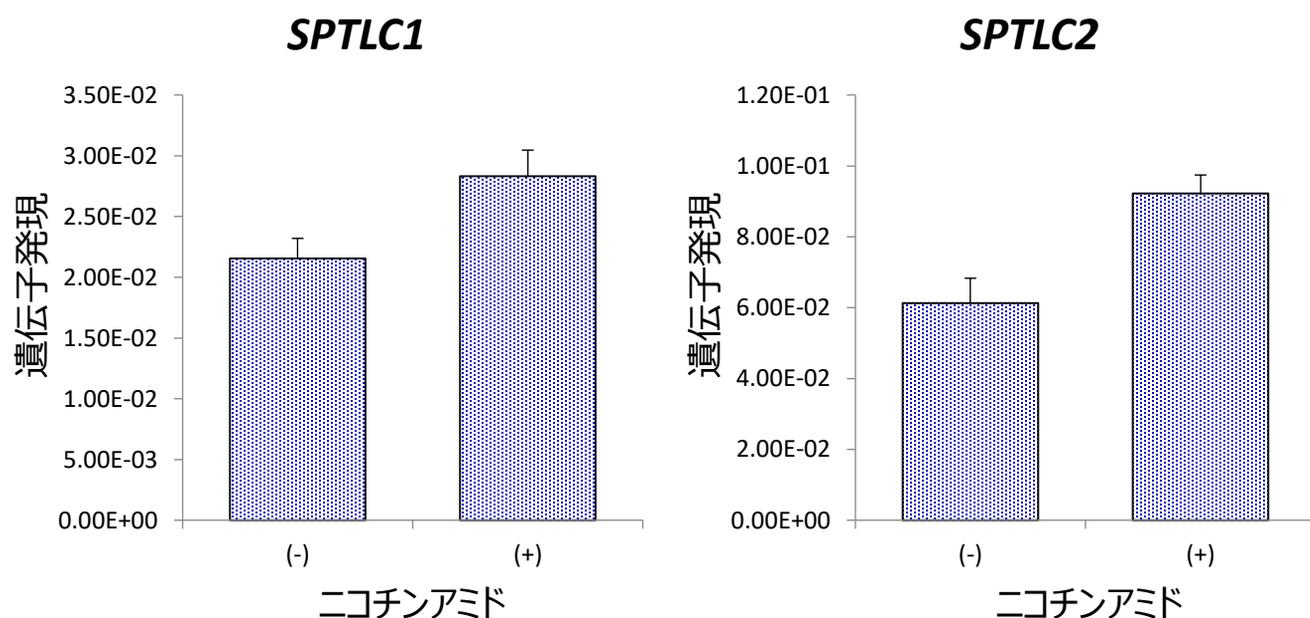


SUSCARE

1. 測定条件

ヒト角化細胞を4日間増殖培養後、高カルシウム濃度の培地に交換し、さらにニコチンアミドを添加して4日間培養した。培養後、細胞が発現するセラミド合成酵素遺伝子の発現量をリアルタイムPCRにより定量した。

2. 測定結果



※SPTLC3の発現量も同様の結果が得られた。

3. 測定結果から得られる情報

セラミドは肌の保湿に関与するため、セラミドの産生に関する酵素の発現増大効果により、肌の保湿効果の発現が期待される。

4. 依頼費用例

お問い合わせください。

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。